

- 開催中 旧見付学校企画展
『明治150年と学校教育』・・・P1
- 民員が語る歴史 第2回 稲作を助ける・・・P2～3
- 秋のイベント情報・・・P4
- コラム『サッカーのワールドカップを見ながら考えた』
渡邊武文・・・P4

開催中 旧見付学校企画展

明治150年と学校教育

期間:開催中～平成31年3月31日(日)

場所:旧見付学校1階西側展示室 入場無料

開催時間:午前9時～午後4時30分

休館日:月曜・祝日の翌日・年末年始



本年は、明治元年から150年の節目の年です。150年の間に学校のあり方も変わっていきました。磐田市内の学校も時代の流れとともに校舎を作り替えるなど、時代に合った変化を遂げています。150年の変化を写真と出来事で振り返ります。

展示の様子



みどころ①坊中学校

坊中学校は、明治8年(1875)に鎌田に開校した日本一古い洋風建築の校舎でした。校舎は木造洋式三階建てで、明治期に刷られた版画からその様子が伺え知ることが出来ます。

みどころ②大正時代の授業風景

見付高等女学校の運動会で生徒が袴姿はかますがたでダンスを踊っている風景をはじめ大正時代の授業風景・校舎を紹介します。



みどころ③給食

昭和に入り完全給食が開始されました。昭和26年頃の給食の再現と、平成の給食をパネルで紹介しています。ぜひ見比べてみてください。

みどころ④新しい教育風景

平成30年に小学校でも英語が教科となりました。また、授業でタブレットやモニターが使われるなど、国際化・IT化が進む情勢にあわせ授業風景も変化しています。



問合せ:旧見付学校(磐田市見付2452)

TEL/FAX 0538-32-4511



民具が語る歴史

第2回 稲作を助ける

(全2回)

右の民具をご存知ですか。今回は竜洋郷土資料館にて展示中のこの民具にまつわる歴史について紹介します。

「ころばし」の使用方法

右の写真は、明治時代に入って全国的に登場した「ころばし」とよばれるものです。

「ころばし」の使用方法は、取っ手を持ち、やや手前を浮かせるようにして押しながら前進すると、ころばしに付いている前輪で土とともに雑草を起こし、後輪で雑草を土の中へ押え込んでいきます。今も浜松市天竜区佐久間町南野田^{みなみのた}では現役の道具として使用されています。(写真右下)。

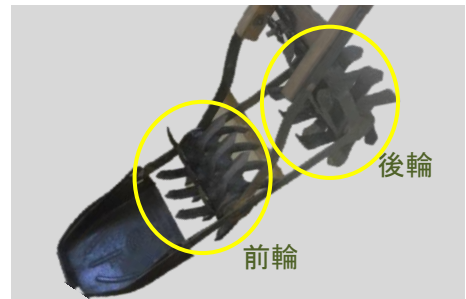
農作業の重労働を助ける

現在は、水田で稲を栽培する農業の多くの作業が機械化などにより省力化されていますが、かつては夏の暑い時期に「除草・中耕^{ちゆうこう}」の作業がありました。「除草」は水田内に生えたヒエなどの雑草を除去する作業、「中耕」は除草と同時に、稲の株間を浅く耕し、株間に伸びた稲の根を一度切る作業のことです。

この除草と中耕は重要な作業ですが、重労働だったようです。「ころばし」が登場するまでは夏の暑い田に入って、中腰になり、「雁爪^{がんづめ}」とよばれる小型の手鋤^{てぐわ}でこれらの作業を行っていました。この「雁爪」を使っての田での「除草・中耕」は嫌われたと伝えられています。朝から晩まで中腰になって、夏の暑い盛りに田に這い蹲^{は つくば}るようにして草を取り続ける作業を嫌うのもっともなことだと思いませんか。「ころばし」は、農民の除草・中耕の作業における重労働を解放してくれた画期的な道具だったのです。



竜洋郷土資料館所蔵のころばし



ころばしの車輪部分



雁爪



『大日本稲作要法』に描かれた雁爪を使う人
『大日本稲作要法』…中井太一郎が記した農業書



浜松市天竜区佐久間町南野田で現在もころばしを使用して行われる除草作業



耕地整理作業と改良型除草機の登場



名倉太郎馬
(1840~1911)

田原村生まれ。全国に先駆けて彦島における耕地整理事業を実行した。

明治時代、全国で水田の耕地整理作業（田の区画が不規則であったものを規則的で直線的な区画に整理すること）が、明治 32 年（1899）3 月に耕地整理法公布がされたことにより広がっていきます。

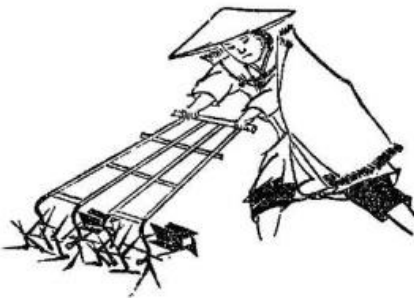
遠州では、耕地整理法公布前の明治 5 年（1872）に磐田郡彦嶋村^{ひこじま}で名倉太郎馬が、明治 13 年（1880）には上新屋村^{かみあらや}（現在浜松市東区上新屋町）で本田平八が、それぞれ耕地整理を行っています。明治 33 年（1900）に富岡村の鈴木浦八が静岡県知事宛てに意見書『畦畔改良意見書』を出し、全国で耕地整理が展開されていくのにつながっていきます。

浦八は、『畦畔改良意見書』で先の二人の耕地整理について全国の先駆けと述べており、また、静岡県の畦畔改良^{けいはん}が全国の着手先登にあり、最好模範であると説いています。加えて、この耕地整理事業によって、今までの水田の区画を直線的にすることができ、それまでの二倍の「利益」を得ることができると報告しています。この耕地整理された水田において、牛馬耕や株の相互の距離を正しく植え付ける正条植えが勧められ、効率のよい稲作技術^{しょうれい}が奨励されました。

明治 31 年（1898）に『大日本稲作要法』（中井太一郎著）（※）が出版されると、全国に正条植え、除草機の使用が紹介され、その推奨がなされました。田植え、稲刈り^{あらおこ}、粗起しと並んで夏の草取りが、重労働として敬遠されがちだったものを、この本の著者が「太一車」とよばれる除草・中耕用の除草機を考案し、紹介しました。この時期全国では、さまざまな工夫が施される改良型の除草機が登場します。ここで紹介した「ころばし」もその一つです。

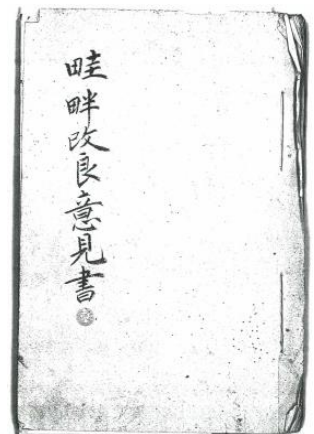
（※）鳥取生まれ。農事改良に尽力し、太一車などを考案し、全国を巡回指導した。

『大日本稲作要法』に描かれた太一車を使う人



鈴木浦八
(1852~1918)

富岡村加茂西生まれ。天竜川下流域の畦畔改良運動を指導した。



鈴木浦八著『畦畔改良意見書』（明治 33 年刊）



稲作を支える

水田稲作農耕において明治期に耕地整理事業に伴い、正条植えに移行していった技術革新が、農具の「ころばし」などから読み取れます。正条植えに用いたその他の農具「田植え縄」も竜洋郷土資料館にも収蔵されています。明治期に全国に広がった民具をぜひ見に来てください。



田植え縄

【竜洋郷土資料館】 磐田市岡 405-47

開館時間 午前 9 時～午後 4 時 30 分 休館日 月曜日・国民の祝日・年末年始 入館無料

秋のイベント情報

1 かすりの着物で写真撮影！

かすりの着物を着て、現存する日本最古の木造擬洋風小学校校舎で、明治時代の雰囲気が出る写真を撮ってみませんか？当日は、昔の遊び体験も開催します！ぜひご参加ください。



旧見付学校外観



かすりの着物と教室

開催日:9月9日(日) 会場:旧見付学校(磐田市見付2452) 対象:幼児～小学生
受付時間:午前9時30分～午前11時30分/午後1時30分～午後3時30分 参加費:無料

【注意事項】

申込不要です。受付時間内に直接会場にお越しください。ただし着物の枚数に限りがありますので、当日の状況によってはお待ちいただく場合もございます。写真撮影は保護者の方をお願いします。

問合せ:旧見付学校 TEL/FAX 0538-32-4511 (休館:月曜・祝日の翌日)

2 向笠地区の遺物展示と新豊院山古墳群・向笠文化財見学ツアー！

国指定史跡である新豊院山古墳群は、一つの尾根上で弥生時代から古墳時代にかけての墓の移り変わりを知ることができる遺跡です。今回、このような貴重な遺跡の見学と向笠地区の文化財に関するイベントを行います。※少雨決行、荒天の場合は中止の可能性があります。

開催日時:9月23日(日・祝) 午前9時～午後3時 会場:新豊院境内(磐田市向笠竹之内14)

【遺物展示】上記の時間、会場にて向笠地区の遺物を展示・解説します。

【見学ツアー】いずれも新豊院境内集合

①新豊院山古墳群見学と向笠文化財めぐり 午前9時～正午 定員:先着30名

申込:9月3日(月)～9月7日(金)電話にて文化財課へ(0538-32-9699)

②新豊院山古墳群見学 午後1時30分～午後2時30分 申込不要

職員リレー コラム

サッカーのワールドカップを見ながら考えた 渡邊 武文

ロシアで開催された4年に1度のサッカーのワールドカップが終了しました。我が国は見事にグループリーグを突破し、トーナメント1回戦では強豪ベルギーに敗れましたが、2点を先取するなど世界に驚きを与えました。好調の主たる要因としては、日本人の俊敏性を生かした戦い方を採用したことが挙げられていますが、試合中を含め選手同士が意見交換を密に行ったことも大きな成果につながったと言われています。こういった世界が驚くような集団性は、日本の歴史や文化に大きく由来していると考えられます。

よく言われるように、多くの日本人が強く集団性を意識する背景には、日本列島が海に囲まれていることが挙げられますが、それに加えて高温多湿な環境の中で森林などが発達し、恵まれた食料資源を生かして人口密度の高い社会を築いたことも関係しているでしょう。そのため、狭い地域で自己と他者の集団が接することになり、互いの利益調整のため集団性が高くなったものと考えられます。



サッカーのワールドカップを見ていて思い浮かべましたが、歴史や文化を考える際、改めて気候や地形などの自然環境も視野に入れるべきであると強く認識しています。最近では、温暖化をキーワードに社会の変化を考えてみたいと思っています。

©磐田市

編集後記
旧見付学校で写真撮影会、もし私が小学生だったならば…伝酒井之太鼓と一緒に撮りたいです。

発行:磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所:〒438-0086 磐田市見付 3678-1 電話:0538-32-9699
◆WEB版は市HPから閲覧できます。[磐田市 文化財だより] 検索